北海道
日伊協会会報

VOL. 67号　2022年4月
発行　北海道日伊協会
事務局 札幌市中央区大通西 14 丁目 3 番地
みふじビル　電話 090-1306-1974
メール conhkd@aig-hokkaido.com

伊語教室　あの校舎が取り壊し

エメラルドグリーンビル　4 半世紀　協会事業支える

北海道日伊協会が主要な責任事業として継続しているイタリア語講座の教室があった札幌市中央区南 1 条東 2丁目のエメラルドグリーン大通ビルが、このほど取り壊されて更地になりました。教室自体はすでに昨年 8 月末をもって、事務局だった(株)ブライトイサッポロ社と共に退去しており実体はありませんでしたが、再開発ビル建設のため、解体され更地になってみると、なんと 4 半世紀にわたって伊語教室を支え、サローネ会場や会議室など事務局機能の一部としても広く使ってきただけに、一抹の寂しさを感じる会員も多いようです。この機会に、ビルの思い出と共に、伊語教室の歩みを振り返ってみました。

教室の歩みは、このビル教室とともにありました。25 周年誌から短く振返ってみます。スタートは 1996(平成8)年 10 月 14 日のビル 2 階。オーナーは法人会員にして事務局を担当していた(株)宮川建設。“テレビ塔裏・南大通り北向き”という惹句に、「創成川東」という昨今の高い地域イメージが、希薄だった時代を思いだします。「教室」でなく「講座」と掲げたことにも、志の高さを感じます。

内容、講師とも、贅沢です。すなわち、
形式＝1 クラス 3～5 名、3 カ月コース(週 2 回)または 6 カ月コース(週 1 回)。
時間＝午後 1 時～3 時、3 時 30 分～5 時 30 分、6 時 30 分～8 時 30 分までの 3 回。
講師＝アンドレア　タベッラ(ベネチア東洋大学卒。現・伊外務省)、山﨑まり(事務局)。

以後、筆頭講師の実力・魅力で、盛んな時代が続いたことは、この間の好調な会計が物語っています。筆者は、その3年あと、たまたま同ビル 3 階に入居していた(株)ブライトサッポロに移籍。2 階教室での山崎講師の采配と発展ぶりを伺う機会も多く、宮川建設で事務局を担当していた幸正和典氏(現理事)が、教室運用・募集・環境維持に尽力されていたことを思い出します。

当協会事務局は 2008(平成 20)年 6 月、(株)ブライトサッポロに移ります。この段階の講義料は、一回 80 分、11 講、38,500 円でした。平均 20 名…をクリアしていました、当時の筆頭講師が、受講生を連れて、独立するという事件が起き、数年間、赤字状態が続いたため、定期預金取り崩し、事務局から補填を余儀なくされたのは苦い記憶になっています。

在りし日のエメラルドグリーン大通ビル。2 階右側が教室

しかし、会が親炙(しんしゃ)頂いた札幌大学ファビオ・ランベッリ先生(現カリフォルニア大学サンタバーバラ校)から、マリアンナ・チェスパ講師(現理事)の紹介を戴き、「ダイナミック」(同教授推薦の辞)に立直しできたのは、感謝でした。マリアンナさんは、週に3度は通われるだけでなく、教室経営について、常に、建設的な案を出され、教室の回復に努められました。現夫君保坂光一さんは滝川市から通った元受講生、そのご褒美

なのです。

受講された方々の動機は、さまざまでした。

・留学を希望される方。語学・声楽・絵画・彫刻…
・技術・専門知識の習得を目指す方。料理・文学…
・イタリア語習得が必要な方。検定試験受験者・法律・歴史・諸科学・医療・意匠…
・イタリア語文献・文学をじかに読みたい方
・家族・友人がイタリアにいる方
・”親伊家”・上記ジャンルの他、スポーツ・映画・ファッション・製品・技術のファン
・留学・勤務経験ある方

年齢も10歳代の中学生から80歳代のご婦人まで、遠軽、帯広、旭川などからの遠距離通学もあり、このような方々が25年の間に、それぞれの思いを胸に、この教室に集い学んだわけです。

会議室として役員会やイベントの打ち合わせに活用されたのは当然として、Salone d‘Itaria（イタリア懇話会）の会場としてもよく使われました。参加者が多く教室では狭い時には、隣のブライト・スタジオをお借りしました。北原敦、古賀弘人両北大名誉教授がイタリア史紀行、イタリア映画論を目を輝かせて語ったシーンは記憶に焼き付いています。

また、教室の空き時間を会議室として有料スポット貸ししましたが、15年にわたって毎週日曜日、礼拝に使っていただいた「森の家の教会」とのお付き合いも忘れられません。

ビル入り口は、ブライダル衣装のショーウインドー脇。狭い階段と教室、廊下の壁面には、その都度イタリア関係のポスターやフライヤーを数枚張り、独自の雰囲気を感じてもらうよう努め、冬は講義時間に合わせて温度管理に腐心しました。

しばしば開かれたSalone d’Itaria 。講師北原敦・北大名誉教授＝2010年8月7日、教室隣のブライト・スタジオで

イタリア語教室は近年、マリアンナさんの他、片桐亜古、乾 藍那、エリーザ・ペッリカノのお三方が、ご本業を持たれながら、講師を務めています。

コロナ禍2年目の昨年、対面受講は敬遠されがちながら、協会側は、受講継続希望の方々の熱い気持を受け止め、9月以降、「札幌市若者支援総合センター」（中央区南1条東2丁目）と（株）ブライトサッポロの新事務所（中央区大通東3丁目）の教室（会議室）を、時間借りしています。いずれも、旧会場と至近。長い厳冬期、受講生にご迷惑をおかけしないで済みました。

エメラルドグリーンビルのような固定的な専用教室を持つ必要があるかどうか…しばらく試行の結果、方向が導かれるでしょうが、新事務局の負担には、限界がある気がしています。　　（理事　山田晋筰）

ウクライナの惨状　避難民400万人超、目を覆う虐殺死体

2月24日に始まったウクライナ戦争は4月14日で50日、世界に第2次世界大戦以降最大ともいえるダメージを広げている。外国への避難民は400万人を超えた（ポーランドは249万人以上受け入れ）。戦闘がさらに続けば、北海道の全人口規模になるだろう。国境から数百キロの位置にあるイタリアも受け入れ体制を整えている。

ロシア軍は首都キーウの掌握をあきらめ東南部の占拠に作戦を変更した。撤退後の破壊のすさまじさ、残された市民の虐殺死体は目を覆うばかり。国連総会は7日、人権理事会（47カ国）におけるロシアの資格停止決議を採択（賛成93、反対24、棄権58）。ロシアは脱退を表明した。ウクライナの反攻は戦闘激化を呼ぶ可能性もある。

ペッリカノ・エリーザさんの話

イタリアでは、戦争が始まる前から、多くのウクライナ人が住んでいました。ウクライナ人の知り合いがいる人が多数いることや、ヨーロッパとロシアは以前から緊張関係にあったこともあり、今回の戦争は、イタリアにとって身近に感じる出来事だと感じます。侵略が始まった2月末から、戦争反対の市民デモや、ウクライナ市民のための食料集めが多数行われました。国家のレベルでも、武器を送るなどの軍事支援に加えて、イタリアへの移住を希望しているウクライナ人の受け入れに取り組んでいます。　　（会員、伊語教室講師）

開館 30 周年　春のアルテピアッツァ美唄 だより

アルテピアッツァ美唄 25 周年記念として、プッチーニ・フェスティバル「蝶々夫人」の主演ソプラノ歌手、ドナータ・ダヌンツィオ・ロンバルディさんの歌声が響いたコンサートから早 5 年。アルテピアッツァ美唄は今年 30 周年を迎えます。かつて、安田侃さんはアルテピアッツァ美唄について「この空間はみんなに育ててもらった」と話していました。その言葉どおり、アルテピアッツァ美唄は、ここに共感する人々によって、年を重ねるたびに何とも言えない優しさと包容力のある空間になっています。

「今までアルテに関わった皆さんとお祝いしたい」「30 周年をきっかけにより多くの方に足を運んでもらえたら」と、アルテピアッツァ美唄では 2022 年にふたつの展覧会を予定しています。

《帰門》。日に日に春めいています（4 月 7 日撮影）

20 日からシルクスクリーン展

ひとつ目は、春に開催します「安田侃シルクスクリーン展」です。1970 年にイタリアへ渡った安田侃さんは、1974 年に一時帰国した際に摺師（すりし）・佐藤浩司さんと出会い、日本滞在中に自らの彫刻をモチーフとしてシルクスクリーン作品を制作しています。今回展示するシルクスクリーンのほとんどが、安田侃さんが 30 歳頃に制作されたものです。それはちょうど、作家として自分にしかできない表現をとらえ、具象から抽象へと移行していった時期と重なります。先日、イタリア・ピエトラサンタのアトリエにいる安田さんとテレビ電話を繋いで、当時のお話を伺いました。作品の中には、ローマで見ていた夕焼けをイメージして色付けたものもあるとのこと。若き日の安田さんの情熱が見えるようです。4 月 20 日から 5 月 9 日までの開催です。

ローマの夕焼けをイメージしたというシルクスクリーン作品

カフェアルテのビスコッティ
（イタリアでよく食べている、と安田侃さんもお気に入り）

しんしんと降る雪の下、凛と佇む《妙夢》
＝Instagram より

9 月に 30 周年記念展

ふたつ目は、秋に開催する「アルテピアッツァ美唄 30 周年安田侃彫刻展（仮）」です。こちらはどんな展覧会になるか、すべては安田侃さんの頭の中にあります。会期は 9 月 1 日から 9 月 26 日までを予定しています。

春のアルテピアッツァは、芽吹き始める植物たちの生命力に満ちて、散策するにも気持ちのよい季節です。例年ですと、5 月の上旬から中旬が桜の見ごろ。彫刻と自然が調和する空間がいつでも皆さまをお待ちしています。

（安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄　泉沙希）

イタリア音楽　復習ノート

ケ・サラ（Che Sarà ）

~サンレモ音楽祭から~

齋藤　洋介

1　故郷を離るる歌

「ケ・サラ」は 1971 年のサンレモ音楽祭の準優勝曲で当時のイタリアの人気コーラグループ「リッキ・エ・ポーヴェリ」とプエルトリコ出身の盲目の歌手ホセ・フェリシアーノ（**写真**）によって歌われた。日本ではフェリシアーノの歌で知られる。ここに主人公が故郷の村を語る前半部分の試訳を記す。

第二次大戦後、イタリアは米国にとって重要な自由主義陣営の一員となった。その結果、米国の「マーシャルプラン」と呼ばれる復興援助計画によって多大な恩恵を受けることとなった。このため、50 年代から 60 年代にかけてイタリアでは「奇跡の経済（miracoro economico）」と呼ばれる経済成長が実現していた。しかし、急速な経済拡大はイタリア南部から工業化の進展するイタリア北部への大規模な人口の移動をもたらした。1955 年から 1971 年の間に約 900 万人がイタリア国内で移動したといわれる。一方、この頃は 1969 年から左右の武装勢力によるテロが相次ぎ、文字通り鉛の弾丸が飛び交う、いわゆる「鉛の時代」（anni di piombo）と呼ばれる重苦しい時代でもあった。この時代の混迷は 1978 年 5 月 9 日のモロ元首相の誘拐暗殺事件で頂点に達した。

Che sarà　（どうなるのだろうか）

Paese mio, che stai sulla collina,	丘の上の僕のふるさとは
disteso come un vecchio addormentato,	まどろむ年寄りのように横たわる
la noia, l'abbandono, il niente	倦怠、遺棄、虚無
son la tua malattia,	それが、君の病だ
paese mio ,ti lascio,e io vado via.	ふるさとよ　僕は君を捨て、去っていく
Che sarà, che sarà, che sarà,	どうなるのだろうか,どうなるのだろうか
che sarà della mia vita, chi lo sa ?	僕の人生を、誰が知るというのだろう?
So far tutto o forse niente,	僕は全てをできるのか、できないのか
da domani si vedrà	明日になれば、わかるだろう
e sarà, sarà quel che sarà !	きっとできるのだろう !
Gli amici miei son quasi tutti via	友はみな去った
e gli altri partiranno dopo me,	残る友も、僕のあとを追うのだろう
peccato, perché stavo bene in loro compagnia	どうしてだろう、楽しかった語らいは
ma tutto passa, tutto se ne va !	全て過ぎてゆき、全ては消えてゆく
Che sarà, che sarà, che sarà	どうなるのだろうか、どうなるのだろうか
che sarà della mia vita, chi lo sa ?	僕の人生を　誰が知るというだろう?
Con me porto la chitarra,	僕はギターを抱え
se la notte piangerò,	泣きたくなるような夜に
una nenia di paese suonerò	ふるさとへの哀歌をかなでるのだろう

（試訳・文責筆者）

「ケ・サラ」が発表された 1972 年はまさにこの時代であった。急速な社会変化に翻弄され、「イタリアの小さな村」はさびれていった。歌の主人公の青年は疲弊した故郷の村に絶望して、恋人を残し、村を去ることを決意する。しかし自分の将来の人生について不安が繰り返しこみあげてくる。これから che sarà（どうなるのだろうか)と自問を繰り返す。後半で歌われる恋人との帰郷の約束もどこか覚束ない。青年の心の支えはギターだけだった。だが故郷を懐かしみ歌っても、それは悲しい哀歌にしかならなかった。

2、平和と連帯の歌

日本では、作詞家岩谷時子が「Che sarà」に平和や連帯などをキーワードにした歌詞をつけ発表した。この曲は越路吹雪や岸洋子によって歌われ、反戦平和の歌、人生讃歌として多くの人に受け入れられた。だが岩谷時子の感性なのだろう、愛の交歓の歌では素晴らしい訳出をするが、原曲に政治的ニュアンスがあるとやや独自の歌世界になるような気がする。「平和で美しい国、信じあえる人ばかり」や「固く心むすばれて、ちかい交わした友達」などの当時の時代の世相を反映する言葉が使われた。しかし、集会などで反戦平和の歌として歌うには岩谷訳ではまだ甘いようで、歌詞の初めの「平和で美しい国、信じ会える人ばかり」を「平和で美しい国、でも見せかけに気がついて」に変えられて歌われることもあったという。

ケ・サラ （岩谷時子訳） （前半を抜粋）

平和で美しい国　信じあえる人ばかり
だけどあしたは　どうなることやら
だれも　わかりはしないさ
ケ・サラ　ケ・サラ　ケ・サラ
わたし達の人生は
階段を手さぐりで歩くようなもの
ケ・サラ　サラ　クエル　ケ・サラ

固く心むすばれて　誓い交わした友達
だけど　そむきあうことも
きっとあるだろう
だれも　わかりはしないさ
ケ・サラ　ケ・サラ　ケ・サラ
わたし達の人生は涙とギター
道連れにして夢みていれば　いいのさ

ケ・サラ （にしむらよしあき訳） （前半を抜粋）

ケ・サラ　ケ・サラ　ケ・サラ
僕たちの人生は
平和と自由をもとめて
生きてゆけばいいのさ
押さえ切れない怒り
こらえ切れない悲しみ
そんなことのくり返しだけど
決して負けはしないさ

ケ・サラ　ケ・サラ　ケ・サラ
僕たちの人生は
平和と自由をもとめて
生きてゆけばいいのさ
泣きはらした夜
迎える朝のまぶしさ
涙の乾くときはないけれど
決して倒れはしないさ

3 反権力闘争の歌

原曲が発表された 1972 年は日本ではまだ学生運動や安保闘争の火がくすぶっていた。この時期に反権力を前面に表現した「にしむらよしあき」訳による「ケ・サラ」が登場していた。にしむら訳は学生たちにより集会や歌声喫茶で肩を組んで歌われたという。ただ訳詞といっても平和・自由を求める不屈の戦いの決意の歌であり、「ケ・サラ　ケ・サラ　ケ・サラ」だけが歌詞に残されている。

原曲では自分の内面への強い不安の呼びかけが che sarà という歌詞に表現されていた。しかし、にしむらの訳は対峙する権力への強い叫びがケ・サラという言葉になっている。意味としてはかみ合わないが、イタリア語の che sarà（ケ・サラ）の強い響きがシュプレヒコールのように抗議行動になじんだのだろう。

あとがき

世界には意に反して故郷を離れざるを得なかった多くの人々がいる。サンレモ音楽祭で発表された「ケ・サラ」は当時のイタリアの社会状況を色濃く反映させた。この曲が日本に導入されると、やはり当時の日本の社会状況を反映することになり、岩谷時子はこの曲を「平和、連帯」の歌につくりあげた。にしむらよしあきはこの歌に新たな役割を与えていた。今この時に、戦火を避け、他国に逃れた多くの人々がいる。不安にさいなまれ日々を過ごしている人たちの思いが「ケ・サラ」の歌詞に重なる。原曲の故郷への哀惜、故郷を離れる不安、これらはいつの時代も変わることはなく存在する。

（理事、元札幌国際プラザ）

時計台でオペラ　岡元敦司、成田恵両会員らが出演

昨年 9 月の延期、やっと実現

岡元敦司さんの言葉　昨年 9 月から延期となっていたコンサートで、やっと皆様にお届けできると思うと、とてもワクワクしています。オールイタリアもの、ベルカントオペラを中心としたプログラムで、字幕もつきます。イタリア語が大好きなので、このプログラムを歌えることに喜びを感じています。

他の出演者：前田奈央子、望月光貴、ピアノ奥出かおり

（4、5 ページに関連寄稿）

オルガンの大澤あすかさんが演奏

「札幌北一条教会　昼やすみコンサート」（西 13 丁目）

日　　時 ： 6 月 2 日(木)12:20 開演　入場料：無料

演奏曲目 ：プレリュードとフーガ　ホ短調 BWV548（バッハ）

ユー・レイズミー・アップ（ラヴランド）　　他

北海道日伊協会
SNS　から

国際女性の日は終わりましたが
トルタ・ミモザはいかが？

北海道日伊協会（Associazione italo-giapponese）

2022/3/11

先日(3 月 8 日)は国際女性の日だったということで、この日に食べるトルタ･ミモサを紹介します。トルタ･ミモザの名前の由来はもちろん、ミモザの花。このケーキは実際、ミモザの花に似たような形で作られています。皆さんは、国際女性の日を祝いましたか?

L'altro giorno era la festa della donna, quindi oggi vi presento la To Mimosa, che di solito si mangia l'otto marzo. Questa torta prende il nome dal fiore omonimo: infatti è decorata con delle forme che ricordano le mimose. Voi avete festeggiato la festa della donna?

編集後記　桜前線が近づきウキウキする季節ですが、ウクライナで起きている前世紀の遺物のような戦争に、世界は打ちのめされています。With コロナの苦しい闘いに、さらなる大波。世界への影響の大きさは想像を超えるはずです▼4 ページで成田恵さんが留学の遅れを案じていたイタリアの友人は、その後無事来日できたそう。避難民も外務大臣の特別機で到着しましたね。ささやかな平常回復です▼ウクライナ情勢は破壊の行き着くところまで突っ込む気配。NHK 朝ドラ「カムカム　エヴリバディ」は 4 月 9 日で終わりましたが、これからも「今、私の出来うる全てを一」（テーマ曲「アルデバラン」）と歌い続ける人がいるでしょう（彦）